

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2011.07.18~07.22

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます。

*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月18日(月)

中国コンテンツ市場を攻略
日台でコンソーシアム
日本総合研究所は、台湾のシンクタンクである資訊工業策進会と連携し、日台が協力して中国コンテンツ市場の攻略方法を学ぶコンソーシアムを2012年1月に設立する。(12面)

香港で食品の国際見本市
日本から最多168社・団体が出展

香港貿易発展局は、食品の国際見本市「フード・エキスポ2011」(8月11~15日、香港コンベンション＆エキシビションセンター)を開く。日本からは最多の168社・団体が出展する。(12面)

7月19日(火)

安川電機、中国で一貫生産
サーボモーター／来春、新工場建設
安川電機は、サーボモーター、アンプを生産する瀋陽市の工場に新棟を建設、2012年春に量産。新棟に前工程の加工設備も導入し、中国で初めて産業用モーターの一貫生産体制を築く。(1面)



7月20日(水)

東海運、青島に現法設立
物流事業を加速

東海運は、青島市に独資による現地法人を11月に設立する。華北地区に新たな営業拠点。また、衣料品の検査、検針をする香港の福民遠東と業務提携。日系企業向けに物流加工を提供。(3面)

サンワテクノス、瀋陽に拠点
サーボモーター
サンワテクノスは、サーボモーターな

どの営業拠点として瀋陽事務所を新設する。日系メーカーへのサービスを向上、現地メーカーの需要を開拓する。北京市や天津市への設置も検討。(8面)

JRC、瀋陽に新工場
屋外用コンベヤー向けローラー

JRCは、屋外用コンベヤー向けローラー工場を瀋陽市に新設する。現地の既存2工場を移転集約し、生産能力を約3倍に向上する。2012年4月に稼働の予定。総額10億円投資。(9面)

フジテック、中国で自社生産
日本向け／エレベーター巻き上げ機

フジテックは、日本国内向けの標準エレベーター用巻き上げ機を外部調達から中国での自社生産に転換する。上海の調達センターに併設した工場で製造し、日本に逆輸入して調整・出荷。(12面)

香港アニメ商談会の出展支援
関東経産局／費用の一部補助

関東経済産業局は、アニメーションなどコンテンツビジネスの中小事業者の海外展開支援を強化。アジア最大級のコンテンツ商談会「香港ライセンシングショウ」への出展費用の一部補助。(34面)

7月21日(木)

中外製薬、中国で治験
骨・関節の治療薬／早期に東ア投入

中外製薬は、2013年にも中国で医薬品販売の承認に必要な臨床試験(治験)に乗り出す。得意とする骨・関節など治療に使う医薬品を早期投入。ロシュグループの東アジア開拓を担う。(1面)

三相電機、モーター製販で提携
広東威靈電機製造と

三相電機は、広東威靈電機製造と小型モーターなどの生産・販売で業務提携する。三相電機の持つ高効率モーターなどの製造技術と、広東威靈電機製造のコス

ト競争力を融合する。(2面)

中国の建機需要が減速
6月減速／金融引き締め

中国の建設機械需要が減速。6月の主要7建機の中国販売台数は前年同月比約40%減で2カ月連続減。中国政府がインフレ抑制のために講じている金融引き締め策が響いている。(10面)

ホシザキ電機、蘇州に工場増設
業務用冷蔵庫／年産4倍6万台

ホシザキ電機は、2013年に蘇州市の蘇州工場の隣接地に新工場を建設する。14年12月に中国や米国向け製氷機と業務用冷蔵庫の年産4倍の6万台に引き上げる。投資額は11億5000万円。(11面)

浜松ホト、北京に販社
光電子増倍管／5年後100億円

浜松ホトニクスは、北京市に全額出資の販売会社「浜松光子学商貿」を設立、10月から営業。計測装置や分析機器に使う光電子増倍管の現地販売を強化する。売上高は5年後に100億円。(13面)

風力発電所建設を規制
乱立防ぐ／現地紙報道

中国国家エネルギー局が風力発電所建設の抑制を狙いとした管理規則を近く公表すると現地紙が伝えた。出力5万kW以下についても認可対象とし、小型発電所の乱立を防止する。(時事=21面)

冠動脈治療器具、2製品投入
朝日インテック／上海に営業拠点

朝日インテックは、2011年度に中国で冠動脈治療用の戦略商品2製品を投入。9月にPTCAガイドワイヤを投入、12年に慢性完全閉塞治療向けカテーテル。上海に営業拠点を12年に新設。(23面)

アスクル、ヤマトと連携
オフィス用品／半日で配達

アスクルは、ヤマトHDと組み上海でオフィス用品の半日配達サービスを開始した。通販物流で商品の保管、出荷業務や宅配便による配達業務をヤマトの現地法人に全面委託。(23面)

香港で外食産業の市場調査
物語コーポ／将来の布石

物語コーポレーションは、香港に「物語香港」を8月設立する。中国の外食産業の市場調査や情報収集を行い、将来の出店につなげる。日本では焼肉店やラーメン店などを運営。(23面)

7月22日(金)

オイルサンド開発会社を買収
中国海洋石油

中国海洋石油は、経営破綻したカナダのオイルサンド開発会社OPTIカナダを買収する。買収金額は債務を含めて約21億ドル。カナダ油砂会社を買収するのは中国企業として初めて。(時事=15面)

ム部品大手の和承R&Aと業務提携し、インドで車用ホース部品やシール部品の生産を委託する。手を組んで現地調達の要望に応える。(7面)

キツツ、インド東西南北体制
ムンバイに現法／汎用バルブ

キツツは、年内にインド西部のムンバイに現地法人を設立する。ムンバイ現法を中心に東西南北4拠点体制で、住宅などの建設設備やインフラ関連向け汎用バルブの需要を開拓する。(8面)

神鋼造機、ベトナムに販売拠点
自動車・鉄道車両向け試験機

神鋼造機は、ベトナム・ホーチミン市に、自動車や鉄道車両向け各種試験機の販売拠点を開設した。東南アジア市場の需要を開拓する。動力伝達部品の性能や耐久性を調べる。(9面)

海外担う人材底上げ
住商情報／現場で早期育成

住商情報システムが海外事業拡大に向けた人材育成の強化に乗り出す。9月をめどにインドなど海外のIT企業やシステム開発プロジェクトに社員を派遣。現場で経験を積み早期育成。(11面)

ウエハー研磨剤、台湾に販社
フジミインコーポ／来月中旬

フジミインコーポレーションは、台湾・苗栗県に全額出資の販売子会社を8月中旬に設立する。台湾では半導体や同製造装置の需要が伸びていて、シリコンウエハー用研磨剤などを販売。(14面)

ホーチミンに多機能倉庫
日通／空調・冷蔵施設を完備

日本通運は、ベトナム・ホーチミン市の郊外に多機能倉庫を開設した。倉庫面積は1万3243平方㍍で、保税倉庫と一般倉庫のそれぞれに空調・冷蔵施設を完備、危険品専用倉庫も設置。(17面)

ベトナム大手行に出資
みずほコープ銀行／500億 600億円

みずほコープ銀行が、ベトナムの大手銀行のベトコムバンクに資本参加する方向で調整。500億~600億円を出資し、最大で発行済み株式の20%を取得する見通し。(19面)

ひと

大変なことになる

東洋電機製造社長の土田洋さんは5月に行った初のインド視察で、「当社にとって大きなビジネスチャンスがある」と強調した。街が人と車であふれるインドを見て、「早く都市交通を整備しないと、大変なことになる」と指摘する言葉に自然と力がこもる。(20日=12面)

ASIA

7月18日(月)

台湾・鴻海精密と液晶で提携
シャープ／パネルを相互供給

シャープは、台湾の鴻海精密工業と、テレビ用液晶パネルをめぐり業務提携した。両社はパネルを相互供給するほか、パネル部材を共同調達する合弁会社を年内にも台湾に設立する。(2面)

アジアが欧米抜く
キヤノン／イエントリナー

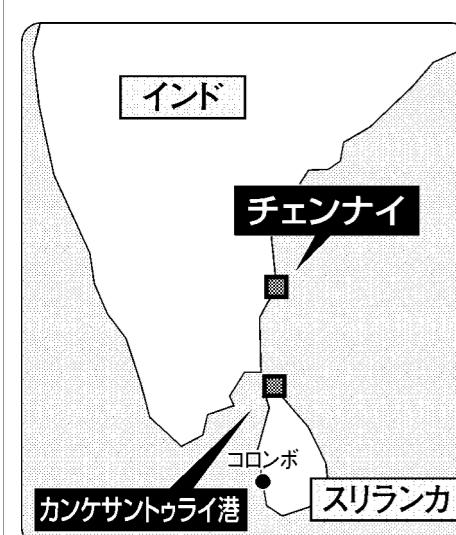
キヤノンは、2011年12月期のインクジェットプリンター事業で、アジアが台数、金額ともに初めて欧米を上回る。中国がけん引役のアジアは成熟市場の欧米、日本を抑えて稼ぎ頭に。(6面)

トップシェアを獲得した中国の成功事例を他国へ水平展開する(キヤノン)



インド市場開拓の拠点に
スリランカ／企業を積極誘致

巨大なインド市場開拓にスリランカの作用を。スリランカはインドとのFTAを武器に企業誘致を積極化。自動車はインド側で60%の高関税率に加え、10%の自動車部品も撤廃済み。(12面)



7月19日(火)

450mmウエハー先送り
東芝・サムスン慎重

半導体用ウエハーの直径450㍉への大型化が先延ばしに。東芝は今秋の450㍉化推進を表明していたサムスン電子も業績低迷で慎重な姿勢に転じた。(1面)

オーケマ、インドネシアに販社
ジャカルタ／サービス強化

オーケマは、月内にもインドネシア・ジャカルタ市に販売会社を設立する。既存の駐在員事務所を格上げして現地の販売・サービス体制を強化する。今後、追加投資し、人員も増員する。(8面)

比の昇降機代理店、子会社化
日立／高速・大型機拡販

日立製作所は、フィリピンの昇降機代理店「ハイエレス・インダストリアル」に追加出資し、子会社化した。年5%で成長、日立が得意とする高速・大型機も需要の増加が期待できる。(12面)

台灣で液晶偏光フィルム原反
住友化学／年2100万m²

住友化学は、台湾子会社、住華科技の台南工場で、液晶パネル向け偏光フィルム原反の生産ラインが稼働したと発表した。生産能力は年間2100万平方㍍、投資額約200億円。(17面)

梶屋、インドネシアに販社
自動車用ラベル／トヨタ向けなど

梶屋は、インドネシア・ジャカルタ州に自動車用ラベルなどを扱う販売会社を設立し、8月に営業を始める。トヨタ自動車など日系自動車メーカーは現地で車両の増産を進めている。(5面)

途上国の研究者10人助成
来日した土木・電気などの技術研修生

久保田豊基金(事務局=日本工芸内)は、途上国の技術研修生を支援する助成金給付者10人を決めた。来日した土木・電気、農業などの技術研修生に。インドネシア2人など。(13面)

TAMA協会、台湾に事務所
中小企業の販路開拓支援

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、中小企業の販路開拓支援で台湾に事務所を開設。専属の職員を配置し、企業訪問の手配や市場調査を支援。会員企業の利用料は月額3万円。(34面)

7月20日(水)

反政府デモ再燃・賃金上昇懸念
タイ新政権／ジェトロ調査

タイ総選挙の結果が経済活動に与える影響を、日本貿易振興機構が調査。反政府デモの再燃や賃金上昇、財政赤字の拡大が課題。頭を化すれば、成長する同国への足を引っ張りそうだ。(3面)

サマンサタバサ、台湾社と提携
アパレル商品販売

サマンサタバサジャパンリミテッドは、台湾で欧米などの著名ブランド品を代理販売するルンテックス社と販売代理店契約を締結した。アパレル商品を台湾内で販売する。(3面)

船造旭洋のRORO
造船／新4行止まる台湾
ブルタイン
リーン
M
稼働は13
計年画に

旭洋造船、韓・中から調達
エンジン・厚板／円高対策

旭洋造船は、主要調達品であるエンジンと厚板を韓国や中国から調達する検討を始めた。1㌧=80円前後の円高水準が定着しており、海外調達は不可避と判断した。(8面)

オーケマ、インドネシアに販社
ジャカルタ／サービス強化

オーケマは、月内にもインドネシア・ジャカルタ市に販売会社を設立する。既存の駐在員事務所を格上げして現地の販売・サービス体制を強化する。今後、追加投資し、人員も増員する。(8面)

比の昇降機代理店、子会社化
日立／高速・大型機拡販

日立製作所は、フィリピンの昇降機代理店「ハイエレス・インダストリアル」に追加出資し、子会社化した。年5%で成長、日立が得意とする高速・大型機も需要の増加が期待できる。(12面)

台湾で液晶偏光フィルム原反
住友化学／年2100万m²

住友化学は、台湾子会社、住華科技の台南工場で、液晶パネル向け偏光フィルム原反の生産ラインが稼働したと発表した。生産能力は年間2100万平方㍍、投資額約200億円。(17面)

梶屋、インドネシアに販社
自動車用ラベル／トヨタ向けなど